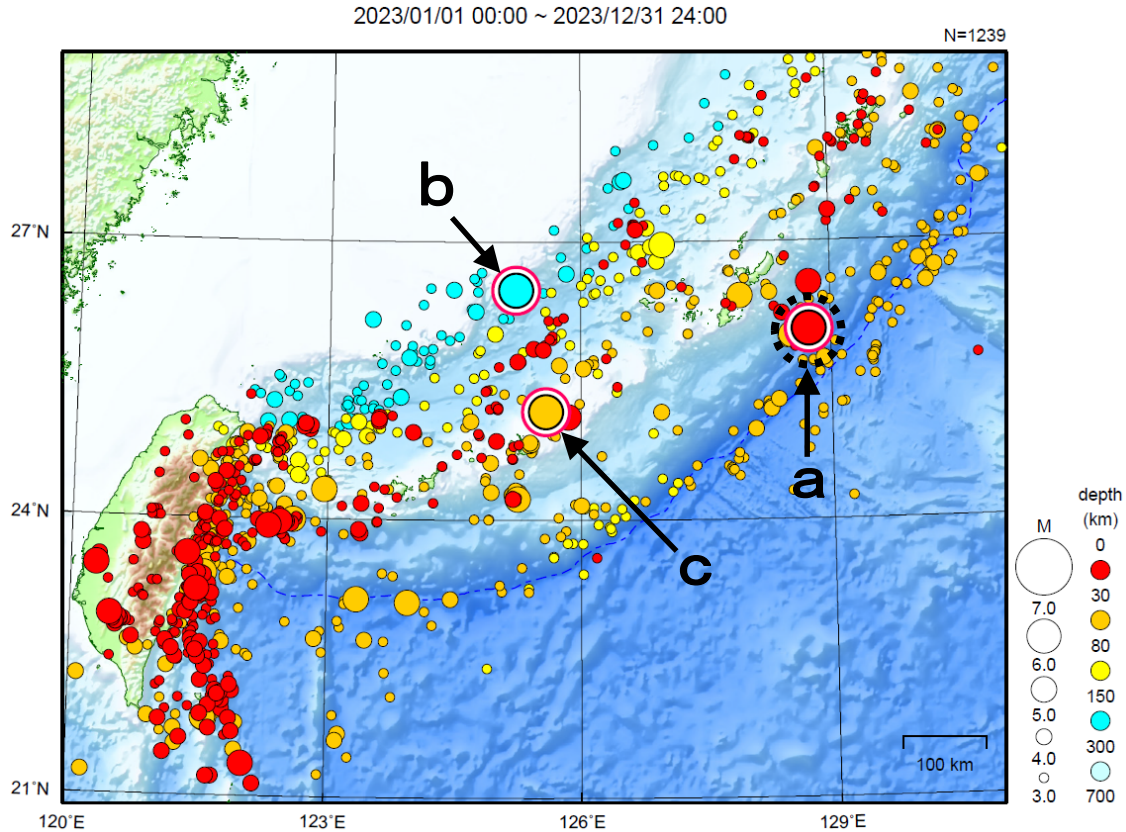


○沖縄地方の地震活動

図 10 沖縄地方の震央分布図（2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日、 $M \geq 3.0$ ）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

[概況]

2023 年に沖縄地方で震度 4 以上を観測した地震は 1 回（2022 年はなし）であった。
2023 年中の主な活動は次のとおりである。

- a 沖縄本島近海では 4 月 27 日から地震活動が活発になり、4 月 27 日から 12 月 31 日までに震度 1 以上を観測した地震が 10 回（震度 2：3 回、震度 1：7 回）発生した。このうち最大規模の地震は、5 月 1 日 12 時 22 分に深さ 13km（CMT 解による）で発生した M6.4 の地震で、沖縄本島及び周辺離島で震度 2～1 を観測した。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。
- b 9 月 18 日 22 時 21 分に宮古島北西沖の深さ 182km で M6.5 の地震が発生し、沖縄本島及び宮古島市で震度 3 を観測したほか、鹿児島県奄美地方及び沖縄県で震度 2～1 を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。
- c 10 月 16 日 19 時 42 分に宮古島近海の深さ 17km（CMT 解による）で M6.0 の地震が発生し、宮古島市で震度 4 を観測したほか、沖縄本島から西表島にかけて震度 3～1 を観測した。この地震は陸のプレート内で発生した。

（図の範囲外）

鳥島近海（鳥島から南西に約 100km）では、2023 年 10 月 2 日から 9 日にかけて、M6.0 以上の地震が 4 回発生するなど、地震活動が活発になった。5 日 10 時 59 分には深さ 10km（CMT 解による）で M6.5 の地震（震度 1 以上を観測した地点なし）が発生し、東京都の八丈島八重根で 0.2m の津波を観測した。また、6 日 10 時 31 分には M6.0 の地震（震度 1 以上を観測した地点はなし）が発生し、八丈島八重根で 0.2m など、八丈島及び鹿児島県で津波を観測した。さらに、これらの地震の震源付近では、9 日 04 時頃から 06 時台にかけて、規模が小さいうゑに地震波の P 相及び S 相が不明瞭なため震源が決まらないものも含めて地震が多発した。この地震活動により、八丈島八重根で 0.7m など、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

沖縄地方では、9 日 04 時頃から 06 時台にかけての地震活動により、南城市安座真で 5 cm の津波を観測した。

（図の範囲外）

12 月 2 日 23 時 37 分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ 40km で Mw7.5 の地震（Mw は気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で 0.4m など、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した。

沖縄地方では、那覇で 8 cm、南城市安座真で 5 cm、南大東漁港で 4 cm、宮古島平良で 6 cm の津波を観測した。